女性力が光る長崎県

女性の社会での活躍が政府の命題になっており、長崎でも活躍する女性経営者をはじめ、官民による支援の動きが活発になっている。長崎は江戸時代から西洋に対して開かれていた。幕末にはその地の利を生かして、輸出で身を立てた女性もいた。女性活躍の先進地とも言える長崎の女性経営者を紹介するとともに、行政による支援の取り組みを見ていく。

女性をもっとモノづくり現場に

タカギ建設鋼業社長
牛島 満子氏

タカギ建設鋼業は長崎県中央部の大村市で、鋼構造物の製造や製缶、板金加工を手がけている。牛島満子社長は夫が亡くなった跡を継いで就任。経理担当だったため数字には強かったが、モノづくりはまったくの不案内。「営業も嫌で仕方なかった」が、持ち前の明るさとパワーで業容を拡大。現在は大手鉄鋼メーカーとの取引もある。「女性の雇用創出をしたい」という牛島社長に聞いた。

◇　◇

―経営者として活躍されています。

「社長になって14年目ですが幸せです。夫が亡くなった直後は、会社をたたむつもりで全社員を解雇しました。ただ3日寝たらもう十分休んだと感じて、仕事を再開することに。3人ほどで始めると、以前は赤字にしかならなかったのに利益が出ました。効率が問題だったと気付いたんです」

―大手企業からの受注も獲得しています。

「壁にぶつかった時に長崎県産業振興財団に出会い、マッチングの機会を得ました。大手企業も担当者と対で話せば人間同士の関係。最終的に規模の大小ではなく、要望に応えられるかどうかが重要です。そのために常に一生懸命話をします」

―営業はどのようにしたのですか。

「昔は無口だったんです。みんな信じられないと言いますけど。だから、最初は営業が嫌で仕方ありませんでした。でも仕事が取れて、さらに評価されるとまたやろうという気になりました」

―社長就任後に事業分野を拡大したのですね。

「就任前は建築関連がメーンで、加工設備もありませんでした。周囲は懸念しましたが『大丈夫よ』と説得。わからない部分は、知らないことをさらけ出して発注者に聞きました。相手の懐に飛び込めば何とかなるものです。ただ、〝女性女性〟していればいいというわけでもない。自分をアピールし、喜ばれる仕事をし、リピート受注をもらわなければいけない。それが安定受注につながれば、社員も良い生活ができますから」

―女性を製造現場に入れたいそうですね。

「女性はこまごました部分に気付きやすいし、作業を同時にこなすことも得意。モノづくりに向いているはずです。アルミニウムのように軽い素材もあるし、運べないものは周囲が手伝えばいい。社会のためにも眠っている力を活用しなければ、もったいないですから。これからどんどん採用していきたいと考えています」

眠っている力を活用

設備投資に力を入れて顧客の要望に応える（本社工場）

女性経営者を訪ねて

和華蘭＝ポップコーンで起業

商品のポップコーンを手に説明する藤原社長

「出島を通して伝わった」
長崎土産の定番に
地元の味・特産品でレシピ

カステラ、ちゃんぽん、角煮まんじゅう…と、長崎名物をポップコーンにしたユニークな商品を製造販売するのが、「長崎の路地裏cafe」（長崎市）だ。長崎市内の繁華街にカフェ併設の店舗を構えて販売。店内にはコーンが弾けた香ばしいにおいが漂い食欲をそそる。藤原里奈社長は「商品を通して長崎の良さを伝えていきたい」と笑顔をみせる。

レシピは約30種類。店頭には季節限定を含めて常時18種類ほどが並ぶ。現在は長崎空港やハウステンボスなどでも販売し、月5000パックを売り上げる。「コーンは長崎の出島を通して日本に伝わったと言われる」ことをブランドストーリーとしてアピールする。

藤原社長は長崎生まれ、福岡育ち。テレビの旅番組のリポーターとして活躍後は、仕事を辞めて「自分探し」で世界各国を旅行。その道中、スペインで販売されていたカラフルなポップコーンに出会う。帰国後、日本ではめずらしいポップコーンで事業化を思い立ち、東京で起業した。

長崎の会社は2014年3月に設立。藤原社長が久々に訪れた長崎の魅力にとりつかれて、すぐに開業を決めた。全国展開を目指す東京の会社とは別に、土産物として「ここでしか買えない特別感」を表現する。

ポップコーンは「栄養価が高く、空腹で食べても血糖値が上がりにくい」メリットとともに、「楽しい気分にしてくれる」という。3色のパッケージには、長崎文化を象徴する日本・中国・オランダが融合した「和華蘭」の意味をこめた。地元の味を再現するだけでなく、特産の素材も使うことでアピール。長崎土産としての定番化を目指している。

長崎県産業振興財団
独り立ちまで支援

藤原社長は行動が速い…と大石さん（左）

企業支援機関の長崎県産業振興財団（長崎市）も女性の起業支援に力を入れている。「女性による相談が増えています」と説明するのは、ベンチャー企業支援グループの大石彩加さん。14年に同財団の正職員に抜てきされ、起業家の支援に駆け回る。

同財団が13年度に支援した創業案件22件のうち、女性によるものは6件だった。女性による起業の割合は年々増加しているという。ただ「何から始めていいかわからない」「事業計画を立てるために何が必要か」「資金調達をしたい」など起業者には悩みが多い。これらの課題を、同財団では無料で相談を受けている。

財団の支援は起業までではなく「独り立ちするまでを支援します」と大石さん。「長崎の路地裏cafe」にも情報提供などで支援し、ビジネスの橋渡しを行っている。藤原社長も「とても役に立っています」と評価。大石さんは「藤原社長は行動が速い」と驚く。

また、この2月に長崎市内にオープンした「長崎県総合就業支援センター」でも、女性の就労支援に特化したコーナーで、同財団の担当者が女性の起業相談を受け付けるなど、多方面で女性の活躍に向けた支援が行われている。

お慶に続け！ 社会進出支援プロジェクト

大浦 慶

おおうら・けい
1828（文政11）―1884（明治17）年

（写真提供・長崎歴史文化博物館）

長崎の大店の油問屋に生まれるが、大火で家財を失い、茶の輸出で家の再興を目指した。九州西部で盛んだった茶の見本を海外に送り、それが英国人貿易商の目に留まる。そこから大量の取引が始まり、財を成す。当時、幕末の長崎には維新の志士が集まった。お慶は彼らとも交流し、支援したとも伝えられる。

2010年の大河ドラマ「龍馬伝」では、余貴美子さんが印象的なお慶を演じた。

リーダー育成へ効果期待

長崎県では2010年度から、長崎出身の商人「大浦慶」の名を冠した支援事業「大浦お慶プロジェクト」に取り組んでいる。10年9月に県内で活躍する女性10人を選抜、「お慶メンバー」としてアドバイザリー会議を設置した。女性力による地域活性化を目的に、起業支援や学生向けキャリア形成支援といった、モデル事業の実施や仕組みづくりを進めてきた。

県による社会進出支援の背景には、就業率と非正規雇用率における男女差が挙げられる。10年の国勢調査では、長崎県の女性就業率は60・8％と全国の57・5％より高い。だが男性76・9％と比べると差がある。また非正規雇用率も全国平均より低いが、県内男性16・7％に対して女性50・6％と開きがある。

そこでさらなる女性の社会進出を促すため、14年12月には官民による「ながさき女性活躍推進会議」が発足。行政と地場経済界が一緒に取り組むことで、より実践的な効果に期待する。15年度にかけてワーキンググループのメンバーを選抜するほか、会員となる企業・団体を募る。会員には、自主目標の設定を促す。女性の管理職比率の向上や職域・採用の拡大、社内の環境整備などを掲げてもらい、県内全体の就労環境改善につなげていく。

「ながさき女性活躍推進会議」の発足式

「お慶プロジェクト」としても15年度は女性リーダーの育成研修やセミナー、交流会の実施を計画している。推進会議と並行して相乗効果を生み出しながら、長崎県男女共同参画室では「最終的には全体をネットワーク化したい」考えだ。

■ 主要設備
- レーザー加工機（アマダ）2台
- コーナーシャー1台
- ターニングロール1台
- NCトレーサー1台
- 帯鋸盤1台
- ポータブル自動切断機1台
- 開先加工機1台
- ポンチング機（昭和精工）1台
- ポンチング機（藤村）1台
- オートポンチ3台
- マグネットボール盤2台
- 200tonプレス機1台
- ブレーキプレス機（アマダ）1台
- ボール盤（日立）1台
- ボール盤（ニットー）2台
- 切断機1台
- 手溶接機（松下）4台
- 手溶接機（三菱）1台
- 手溶接機（ナショナル）1台
- 半自動溶接機7台
- TIG溶接機2台
- サーモスタッド付溶接乾燥機1台
- アークエアガウジング1台
- ポジショナ1台
- 天井走行クレーン（2.8t）4台
- 門型クレーン（2.0t）1台
- 天井走行クレーン（0.5t）1台
- 天井走行クレーン（4.8t）2台
- YAGレーザー溶接機1台
- 超音波探傷器1台
- 浸透探傷器8台
- パイプカッター1台
- シャーリング1台
- プラズマ2台

■ 業務内容
- 建築鉄骨
- プラント架台（装置架台、デッキ、歩廊）
- 製缶一式
- （産業機械用架台、ホッパー、サイレンサー、モーターカバー）
- 造船関係金物
- 板金一式
（産業機械用外装カバー、構造用部品）

■ 有資格者
- 1級建築士 ……1名
- 2級建築士 ……2名
- 2級建築施工管理技士 ……1名
- 鉄骨製作管理技術者1級 ……2名
- WES8103溶接技術者2級 …1名
- 鉄骨工事管理責任者 ……1名
- 建築鉄骨製品検査技術者 ……1名
- NDI-UT　レベル2 ……1名
- NDI-UT　レベル1 ……1名
- JISZ3801　アーク溶接技術者 …5名
- JISZ3841　半自動溶接技術者 …5名

正社員募集中!!

第一工場

第二工場

株式会社 タカギ建設鋼業
長崎県大村市富の原1-1358
TEL 0957-55-8777　FAX 0957-55-4522
E-mail　takagik_k@fuga.ocn.ne.jp
ホームページアドレス　http://www2.ocn.ne.jp/~takagikk
お問い合わせ先：
TEL 0957-55-8777
担当：吉瀬（きちせ）まで